

# 6月号

## School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



# Dream通信

2010. 6. No.27

## 「夢追う子どもたちの家」母の日 ～感謝の思いを込めて お手伝い～



早起きして市場へ買い出しに。



みんなが食べる食材。真剣に選びます。



味見中。肝心のお味は？

皆さんこんにちは。カンボジアは雨季に入り、暑さも随分とやわらいできました。熱帯地方特有の強烈なスコールにも負けず、子どもたちは元気一杯で、農作業に精を出し、勉強に励んでいます。

さて、5月の第2日曜日といえば日本では母の日ですが、カンボジアでは国王誕生日という3連休の祝日となっています。そこで「夢追う子どもたちの家」ではこの3連休を利用し、普段お世話になっている保母さんたちに日頃の感謝の思いを込めて、保母さんの仕事(買い出し、調理、裁縫)をお手伝いする～お手伝いの日～を企画しました。

今回のドリーム通信では、そのお手伝いの様子をお伝えします。

### 市場へ買い出し

まずは食材の買い出しのお手伝い。ルームリーダーの子どもたちが、他の子より30分早起きして自転車置き場に集まりました。眠い目をこすりながら、市場へ。

クラコー市場には、野菜や魚などの食料品店が数多く立ち並び、その他 雑貨・CDなどのお店も並んでいます。今回、子どもたちは 調理のおばさんと一緒に、いつも肉や野菜を買っている店に向かいました。カンボジアの市場には 値札がないので、いくらで買うかは交渉次第です。日頃買い物をしていない子どもたちは、ベテランの売り子さんに押されっぱなしの状態、思わず途中で、交渉役を 調理のおばさんと交代する場面も見られました。

約80人分ですので、食材も大量です。市場で買った食材は、みんなで分担して園に持ち帰りました。

### 調理にも悪戦苦闘

食材を買いこんだら、早速調理開始です。作業を分担し、野菜の皮をむいたり、切り分けたりします。刃物を扱うのは危険なため、小さい子どもたちは食材を洗う担当です。



ご飯も大量です。混ぜるのも一苦労。

小さい子たちも、お米をふるいにかけて砂利を取り除いたり、大鍋で食材を煮込むための かまどの火をおこしたり、大きな子たちに負けないくらいに一所懸命です。慣れない作業に悪戦苦闘しつつも、額に汗して頑張っていました。

出来上がった料理は、少し芯が残っていたり、形が不ぞろいだったりしたのですが、なぜかいつもよりも美味しく感じられました。自分たちの手で作った、愛情たっぷりの料理ということもあってか、普段は野菜が苦手な子もあつという間に全部食べ終わっていました。

## 保母さんによる裁縫教室

料理を作っている子どもたち以外は、保母さんによる裁縫教室を開催しました。保母さんたちは縫物が得意で、少しくらいのほころびなら いつもすぐに直してくれます。

今回は、クロマーという布(カンボジア版の手ぬぐい)に自分の名前を縫い付ける刺繍を行いました。普段から保母さんのお手伝いをしている子たちは、簡単に刺繍を終えて、自分の蚊帳を繕ったり、小さな子に教えたりしていました。

刺繍した名前は、みんながみんな上手ではなかったかもしれませんが、とても味のある 世界でたった1枚のオリジナルのクロマーに仕上がりました。



蚊帳も自分たちで繕います。

## ご褒美は…大好きな映画鑑賞会

洗濯に倉庫の整理、普段出来ない部分の大掃除、日々の農作業、そして 上述のお手伝いと、2日間本当によく働いた子どもたち。おかげで園もすっかりきれいになりました。

そこで3日目には、頑張った子どもたちに ご褒美として大好きな映画鑑賞の時間をプレゼントしました。支援者様から頂いた暗幕を窓に取り付け、外の光が入ってこないようにしてから映画を鑑賞します。いつもは土曜日の夜だけなのですが、この日は特別です。暗幕を取りつけながらも、子どもたちの顔には自然と笑顔がこぼれていました。

園に来る前の子どもたちの生活は、勉強どころか毎日の食事も儘ならないものでした。だからこそ 子どもたちは今、将来 家族を支えていくために、カンボジアの未来のために、そして 自身の夢を叶えるために、毎朝4時から消灯の23時まで1日に8~10時間も勉強しています。普段は勉強の比重が重くなりがちな「夢追う子どもたちの家」ですが、勉強だけではなくしっかりと自立して生きていける人になるよう、社会勉強の機会も増やしていきたいと思えます。

将来、卒園した子どもたちが、それぞれの夢を叶えていけるように、「夢追う子どもたちの家」職員一同、これからも全力で取り組んでまいります。



小さい子には大きい子たちが教えます。



暗幕も自分たちで取り付けました。